

- この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。
- 本製品の取付け範囲は、右表の通りです。

■取付け範囲
(単位: mm)

対応壁厚	ケーシングタイプ	
	薄壁用	厚壁用
	113~139	140~167

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意…取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険および物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 扉の脱落の原因になるおそれがあるため、下記事項をお守りください。
 - ・指定のねじで丁番を締付け、必ずガタツキのないように固定してください。
 - ・本体つり込み後、手で枠側上丁番のレバーを回してください。
 - ・枠側上丁番のレバーが上がっていることを確認してください。

■施工上のおお願い

- 枠取付けの際は、水準器・下げ振り等で水平・垂直を確認してください。
- 造作材・建具枠を取り付ける時は、必ず接着剤を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤を塗布してください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂れ下がり・ゆがみ等の原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)
- 造作材・建具枠の下地材は、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用してください。湿潤材は使用しないでください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。

- 枠の組立て後、ねじれ・引っ張りなど無理な力を加えないでください。破損の原因になります。
- 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ず透き間をつくり、かい木を入れてください。かい木は合板等の乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に必ず防水処理をしてください。
- 沓ずり部の納め方に応じて縦枠を切断してください。
※建築工事中は、ドア本体を養生・保全のため取り外しておき、施工完了後につり込むことをお勧めします。

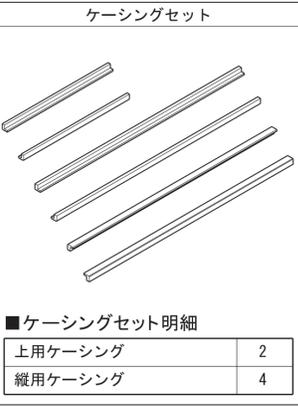
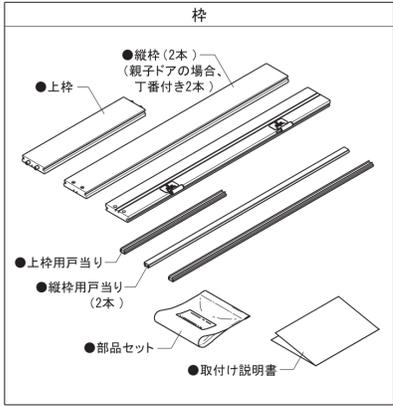
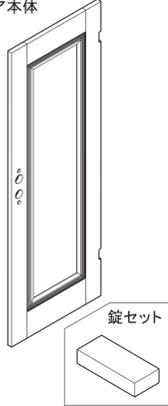
■縦枠の切断

平薄沓ずり	切断不要
沓ずりなし	切断 (12mm)

■部品・部材の明細

【標準ドア・トイレドア・親子ドアの場合】

ドア本体



■枠セット明細

	標準ドア	トイレドア	親子ドア
縦枠	2	2	2
上枠	1	1	1
戸当り	縦2・上1	縦2・上1	縦2・上1
枠定規	2	2	2

■丁番セット

丁番	2
本体取付けねじ (皿タッピンねじφ4×20)	8

■錠セット

ハンドルセット	1組
台座セット	1組
台座取付けねじ(φ4×30)	1
ハンドル固定ねじ(φ4×16)	1

■部品セット

標準ドア・トイレドア用	
トラスタッピンねじφ4×55	4
DNビス(皿木ねじ)φ3.8×65	23

■親子ドア用

トラスタッピンねじφ4×55	4
DNビス(皿木ねじ)φ3.8×65	23
フランス落とし受け	1
皿木ねじφ3.5×13	2

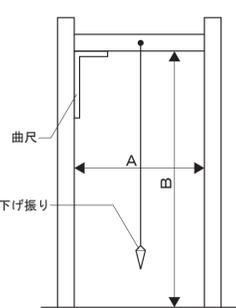
※戸当りストッパーセットは別売りです。

■開口部の作り方

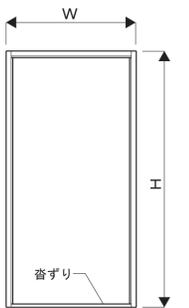
※開口部の水平・垂直を正しく出してください。

開口寸法A	製品寸法W+5mm
開口寸法B	製品寸法H+10mm

●開口寸法



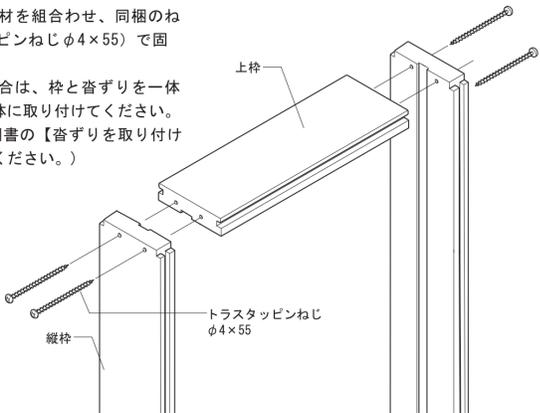
●製品寸法



■取付け順序

1 枠の組立て

- ① 枠の下端を開口寸法に合わせて切り詰めます。
※専用沓ずり(別売り)を使う場合は、切り詰め不要です。
- ② 図のように各部材を組み合わせ、同梱のねじ(トラスタッピンねじφ4×55)で固定します。
※沓ずり付きの場合は、枠と沓ずりを一緒に組み立て、躯体に取り付けてください。(詳細は、本説明書の【沓ずりを取り付ける場合】をご覧ください。)



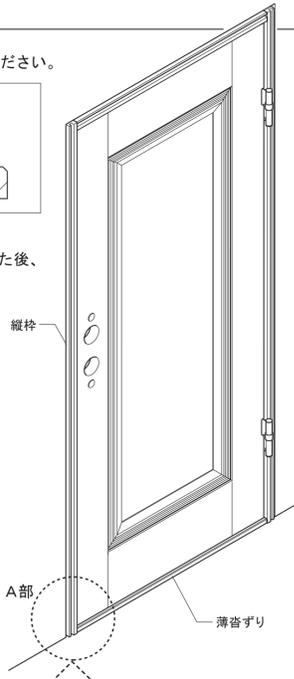
【沓ずりを取り付ける場合】

※薄沓ずりセット(別売り)を使用してください。

【薄沓ずり】

●平薄沓ずり

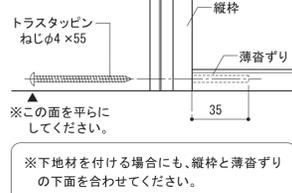
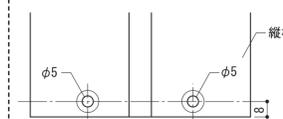
- ① 薄沓ずりを枠に組み合わせます。
- ② 合わせ面が水平になるよう調整した後、縦枠側から薄沓ずりを固定します。



【A部詳細図】

●縦枠加工方法

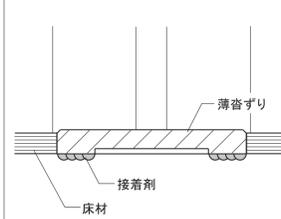
※縦枠を切断せずに下穴加工に沿って貫通穴をあけてください。



■躯体への取付け方

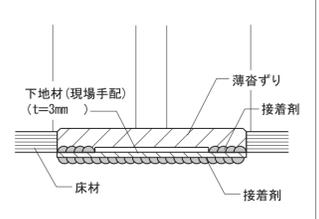
●床材厚さ12mm

※必ず薄沓ずりに接着剤を付け、躯体に固定してください。



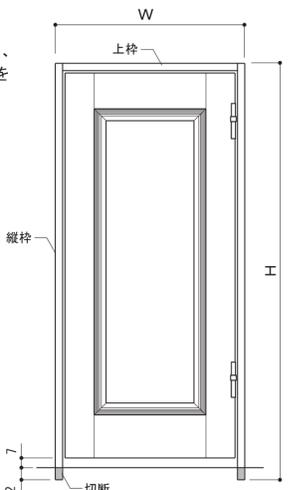
●床材厚さ15mm

※必ず薄沓ずりと下地材に接着剤を付け、躯体に固定してください。



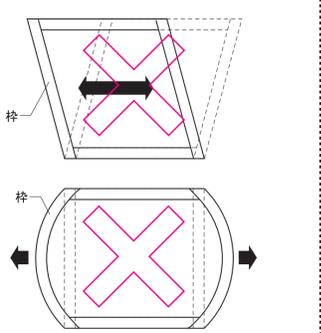
■沓ずりを使用しない場合

●ドア下端のチリを標準7mmとし、床部の納め方に合わせて縦枠を(12mm まで)切り詰めます。



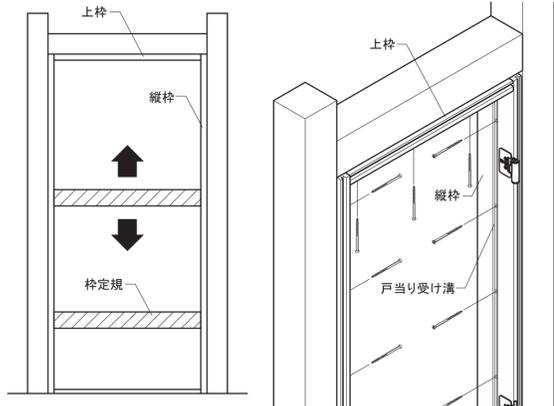
お願い

- 枠の組立てを何度もくり返さないでください。ガイド穴が大きくなり、保持力を低下させます。
- ガイド穴にゴミ等が入らないよう注意してください。
- 枠組立て後、揺らす・引っ張る等の無理な力を加えないでください。破損の原因になります。
- トラスタッピンねじφ4×55以外は使用しないでください。割れ・保持力低下等の原因になります。
- ※ガイド穴はバカ穴のため、多少の調整ができます。



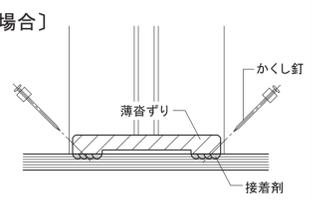
2 枠の取付け

- ① 枠に加工済みの下穴から開口部に固定します。
- ② 枠定規で透き間が生じていない事を確認した後、本固定します。



【沓ずりを付ける場合】

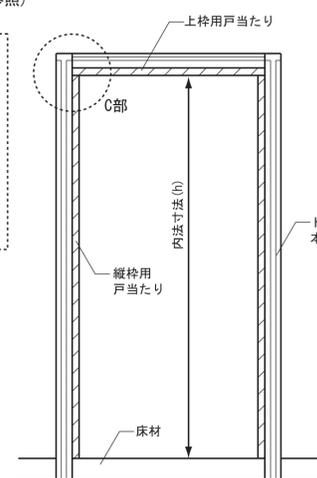
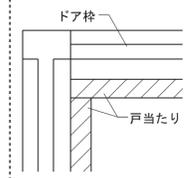
- 薄沓ずりは接着剤を塗布し、かくし釘等で固定します。



3 戸当りの取付け

- 壁材・床材を仕上げた後、戸当りを取り付けます。
- 同梱の戸当りを現場寸法に合わせて下端を切り詰め、木工用ボンドで枠に固定します。
- ① 上枠用戸当りを先に取付けます。
※仮止めする場合は、専用カクシ釘をご使用ください。(カクシ釘使用方法参照)

【C部詳細図】



■カクシ釘使用方法

- ① 頭釘
- ② 折断筋
- ③ 抜け止め筋
- ④ 残留釘
- ⑤ 弾力材
- ⑥ 接着材
- ⑦ オーセントライン部材
- ⑧ バツチャルペンシル材

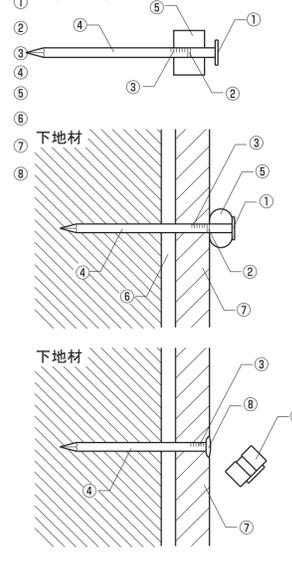
●仮止めする場合

頭釘①を打ち込むと折断筋②はオーセントライン部材⑦に入り込み、これで仮止め完了です。接着完了後、弾力材⑤を横から叩いて折り取ります。

●本止めする場合

抜け止め筋③が動き「本止め」となります。さらに折り取り部をバツチャルペンシル材⑧で補修し、完了となります。

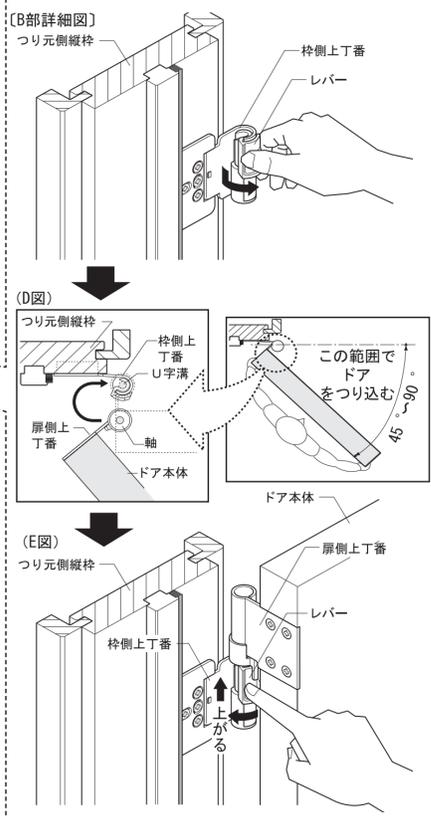
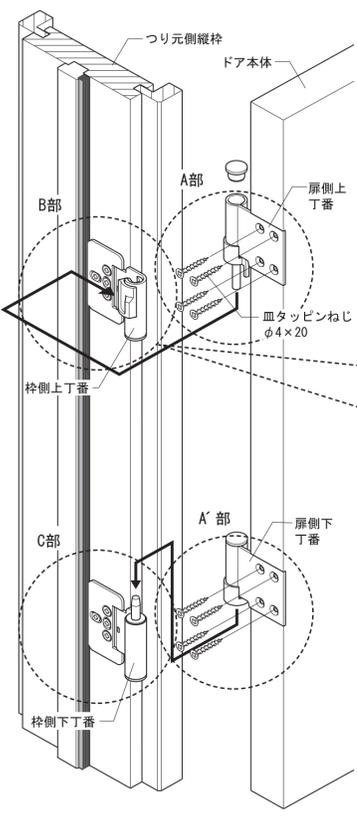
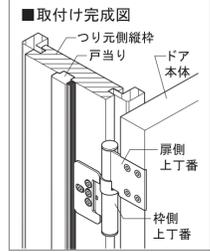
●部分名称



4 ドア本体の取付け

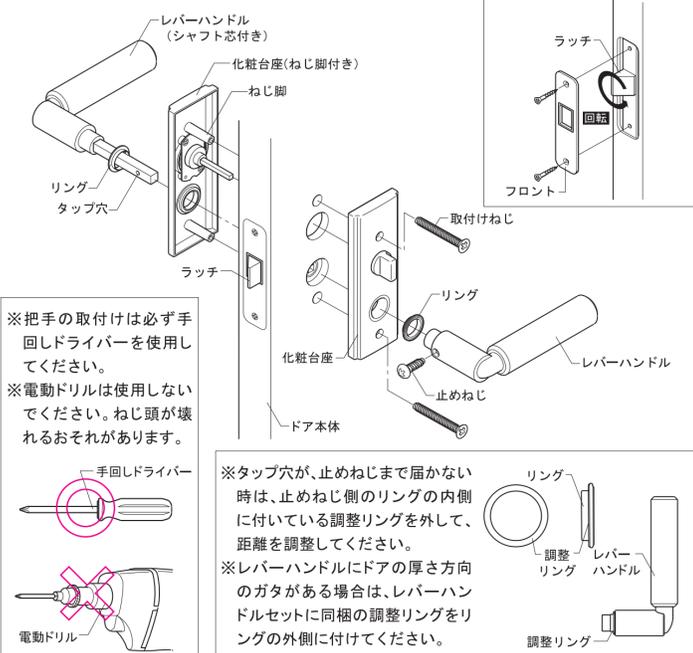
※建築工事中は、ドア本体を養生・保全のため取り外しておき、施工完了後につり込むことをお勧めします。

- ① ドア本体に扉側丁番を皿タップピンねじφ4×20で取り付けます。(A・A'部)
- ※ドア本体は左右兼用です。取付けの際は、ドア本体の上下を確認してください。
- ② 枠側上丁番のレバーを下しながら回します。(B部)
- ※レバーが動かせるまで回してください。
- ③ 扉側下丁番を、枠側下丁番に差し込みます。(C部)
- ④ ドア本体の開き角度が、45°~90°の範囲で扉側上丁番の軸を枠側上丁番のU字溝にはめ込み、ドア本体をつり込みます。(D図)
- ⑤ 手でレバーを回して閉めます。(E図)
- ※確実に閉まると、レバーが枠側上丁番の上端まで上がります。
- ※扉をつり込んだ後、レバーが上がっていることを確認してください。
- ⑥ ドア本体の上下・左右のチリ寸法を確認して調整します。



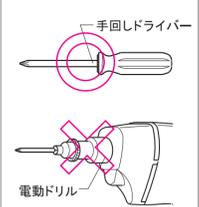
5 把手の取付け

- ① 化粧台座を室内・外から組み合わせ、ねじで仮止めします。
- ② レバーハンドルを両側から差し込み、レバーハンドルが軽く回転することを確認した後、化粧台座をねじで本締めします。
- ③ レバーハンドルを差し込み、ねじで固定します。



※箱錠のラッチは、右つり元の向きになっています。左つり元として使用する場合は、フロントを外し、ラッチを回転させた後、フロントを付け直してください。

※把手の取付けは必ず手回しドライバーを使用してください。
※電動ドリルは使用しないでください。ねじ頭が壊れるおそれがあります。



※タップ穴が、止めねじまで届かない時は、止めねじ側のリングの内側に付いている調整リングを外して、距離を調整してください。
※レバーハンドルにドアの厚さ方向のガタがある場合は、レバーハンドルセットと同梱の調整リングをリングの外側に付けてください。

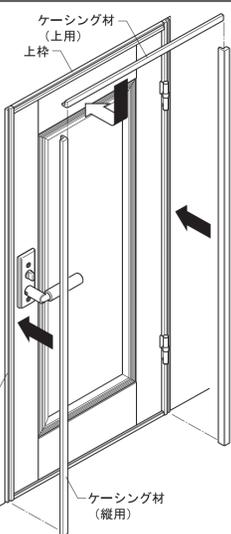
注意

- 丁番固定ねじの締め忘れ・ゆるみ等は、本体脱落の原因になります。調整後本体・枠への固定ねじおよび丁番本体の止めねじが必ず締まっている事を確認してください。
- 扉をつり込んだ後、枠側上丁番のレバーが上がっていることを確認してください。レバーが上端まで上がっていないと、本体が脱落するおそれがあります。

6 ケーシング材の取付け

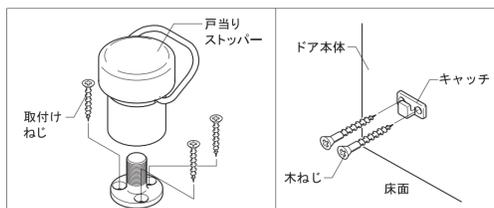
※壁材・床材を仕上げてからケーシング材を取り付けてください。

- ① 別梱のケーシング材を現場寸法に合わせて切断します。
 - ② 枠のケーシング溝へケーシング材を差し込みます。
 - ③ ケーシング溝とケーシング材裏面に接着剤を塗布し、ケーシング材を固定します。
- ※仮止めする場合は、専用かくし釘をご使用ください。

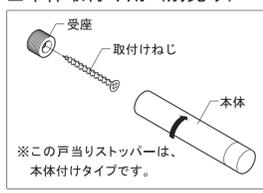


7 戸当りストッパーの取付け

■ 床取付け用 (別売り)
※この戸当りストッパーは、床取付けタイプです。

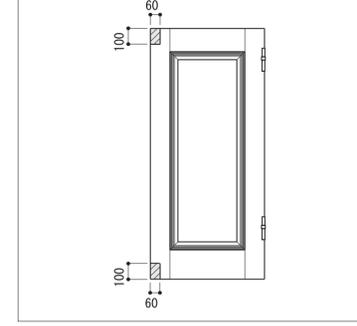


■ 本体取付け用 (別売り)
※この戸当りストッパーは、本体付けタイプです。



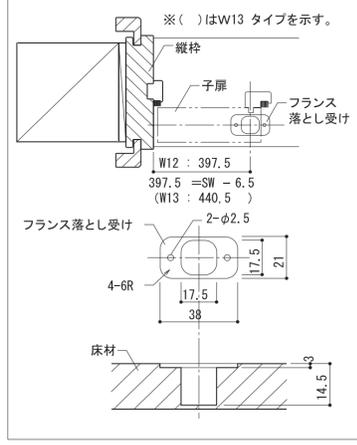
【本体取付け用戸当りストッパー及び、キャッチの取付け範囲】

※下図の斜線範囲内に戸当りストッパー本体又は、キャッチを取り付けてください。
※床取付け戸当りには、キャッチの位置に合わせ、床に取り付けてください。

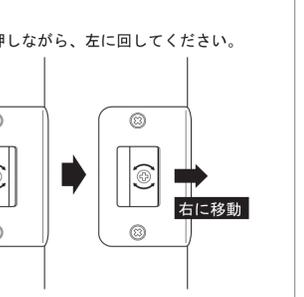
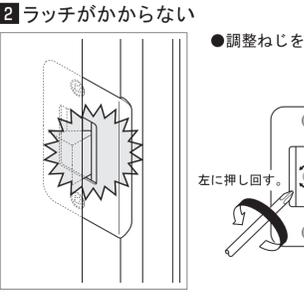
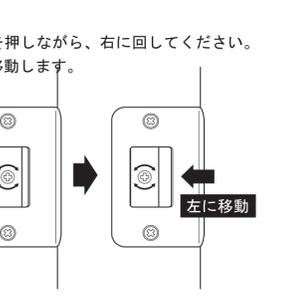
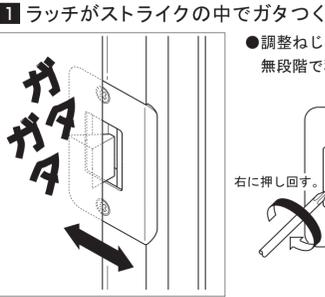
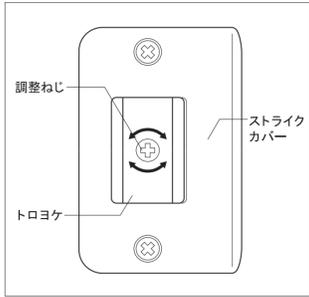


8 フランス落とし受けの取付け

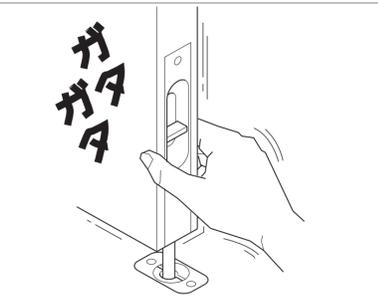
- ① 下図に従い床面を加工します。
 - ② フランス落とし受けを床面にはめ込み、木ねじで取り付けます。
- ※専用の沓ずりを使用する場合は、フランス落とし受けは取付け済みです。



■ 建付け調整 (ストライクによる調整)

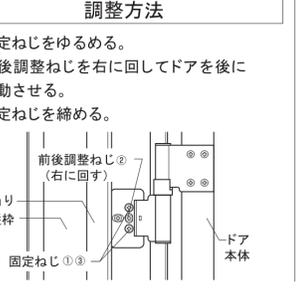
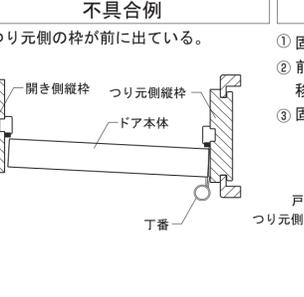
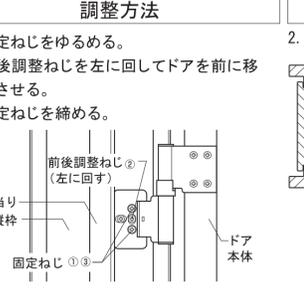
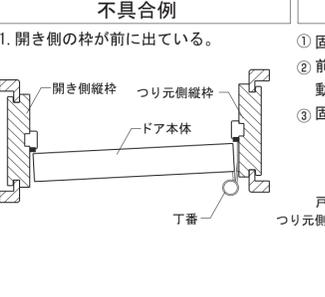
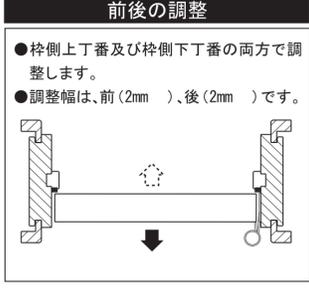
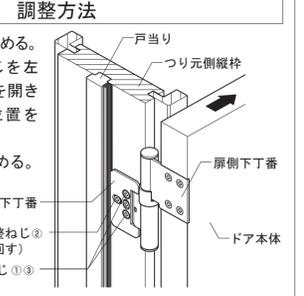
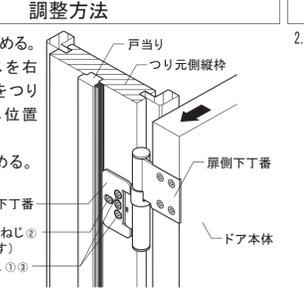
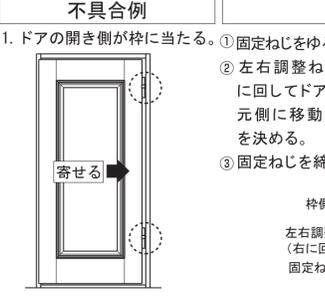
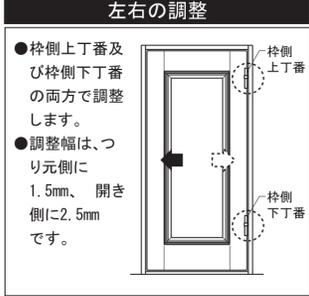
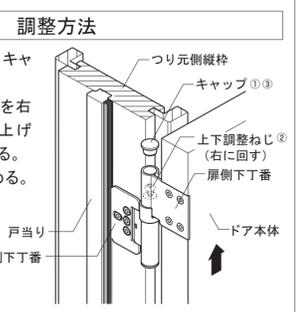
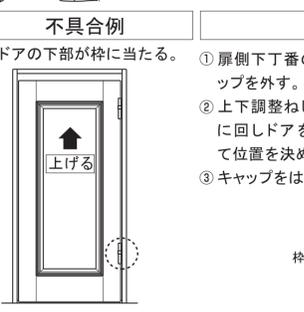
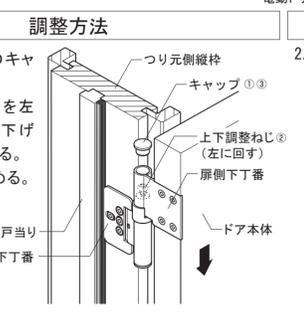
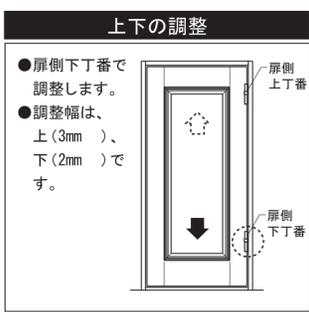


■ 小扉のガタツキ調整 (フランス落とし受けによる調整)



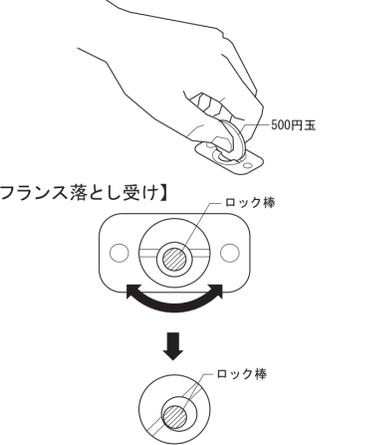
■ 建付け調整 (丁番による調整)

※建付け調整は必ず、手回しドライバーを使用してください。
※本製品は、ドアを開き、建付け状態を目で確認しながら調整できます。
※電動ドリルは、使用しないでください。ねじ頭が壊れるおそれがあります。



1 子扉がガタつく

① コイン等で穴部分を回転させ、ロック棒をフランス落とし受けの内側に当てるようにしてください。



注意

- 丁番固定ねじの締め忘れ・ゆるみ等は、本体脱落の原因になります。調整後、本体・枠への固定ねじおよび丁番本体の止めねじが必ず締まっている事を確認してください。

お願い

※調整完了後、ドア本体を開閉して下記事項を点検してください。(異常があった場合、再度調整してください。)

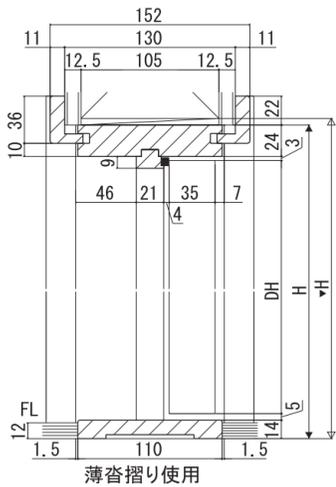
- 戸当りと枠の間に透き間がなく、固定されているか。
- 上枠側上丁番のレバーが上まで上がっているか。
- ドア本体が、枠にぶつからないか。
- ドア本体のラッチが、ストライクから外れないか。
- ドア本体のラッチが、ストライクの中でガタつかないか。

■参考納まり図

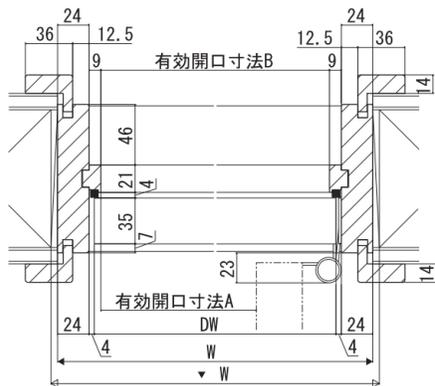
〈標準/トイレドア〉

[薄壁 ケーシング36]

●縦断面図

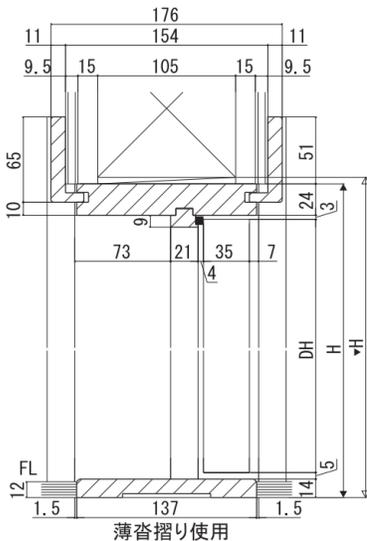


●横断面図

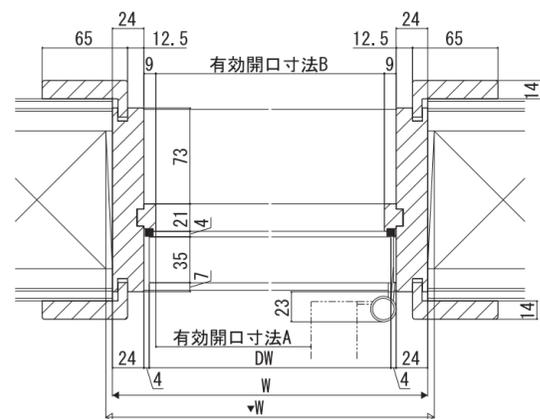


[厚壁 ケーシング65]

●縦断面図



●横断面図



W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法
トイレW06(648)	526	582
W06(734)	612	668
W07(784)	662	718
W08(824)	702	758
W09(873)	751	807

W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法
トイレW06(648)	526	582
W06(734)	612	668
W07(784)	662	718
W08(824)	702	758
W09(873)	751	807

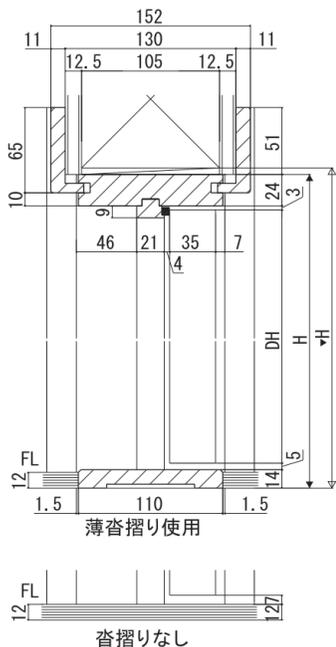
基本	W呼称	06/トイレドア	06/標準ドア	07	08	09
	W(DW)	648 (592)	734 (678)	784 (728)	824 (768)	873 (817)
	H呼称	20	22			
	H(DH)	2035 (1989)	2235 (2189)			

基本	W呼称	06/トイレドア	06/標準ドア	07	08	09
	W(DW)	648 (592)	734 (678)	784 (728)	824 (768)	873 (817)
	H呼称	20	22			
	H(DH)	2035 (1989)	2235 (2189)			

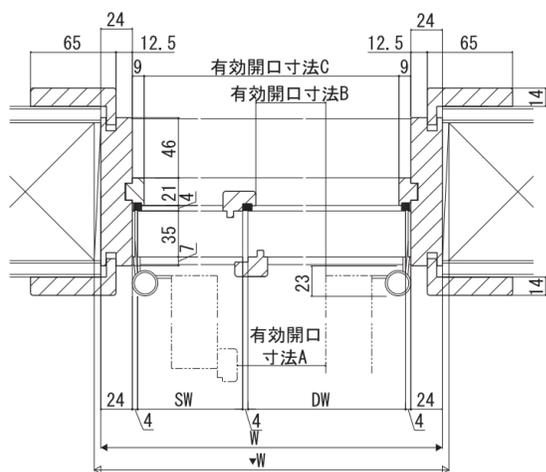
〈親子ドア〉

[薄壁 ケーシング65]

●縦断面図

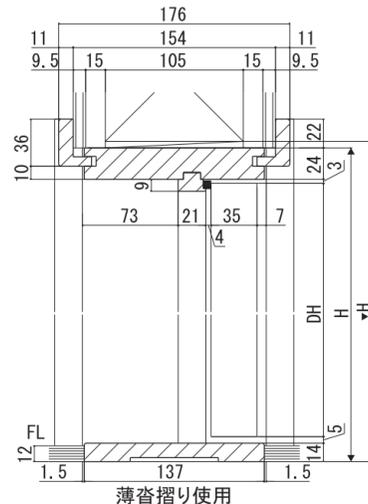


●横断面図

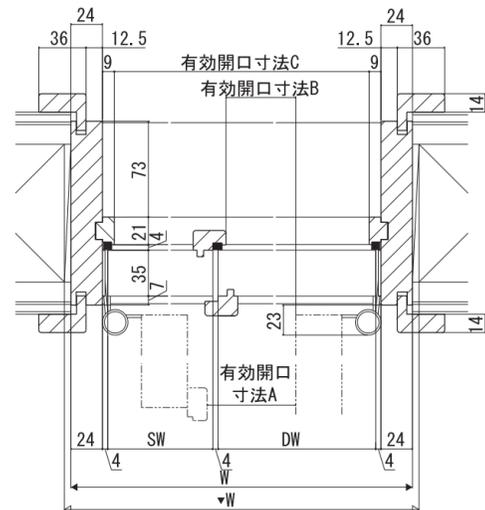


[厚壁 ケーシング36]

●縦断面図



●横断面図



W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法	C寸法
W12(1192)	1000	661	1126
W13(1324)	1132	750	1258

W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法	C寸法
W12(1192)	1000	661	1126
W13(1324)	1132	750	1258

基本	W呼称	12	13
	W(DW)	1192 (親扉728、子扉404)	1324 (親扉817、子扉447)
	H呼称	20	22
	H(DH)	2035 (1989)	2235 (2189)

基本	W呼称	12	13
	W(DW)	1192 (親扉728、子扉404)	1324 (親扉817、子扉447)
	H呼称	20	22
	H(DH)	2035 (1989)	2235 (2189)